

無名草子 清少納言

作者 不明 成立時代 鎌倉時代 ジャンル 評論

P 158 L 1 ありがたし(有り難し)：(分相応に出すぎた人が、そのままです例は、滅多にないことのようにだ。)

L 3 しらす(領らす)：世の中をお治めなさった当初

L 3 時めかす：時勢を得て榮えていらっしやる

L 6 元輔が娘にて、さばかりなりけるほどよりは：「さ」は清原元輔の娘であること、を指しています。

L 7 ①後拾遺などにも、むげに少なく②入りて待るめり。：①八代集の四番目。復習 古今・後撰・拾遺・後拾遺・金葉・詞花・千載・新古今 ②歌集や句集に、選んで入れること。入集(にっしゅう)と言います。

L 8 ①さやうのことには、②まじり侍らざりけるにや。：①和歌を作る場所や機会 ②混じりませんでした(加わりませんでした)

P 159 L 3 流され給ひなど：左遷されなされた

L 4 かけても言ひ出でぬほどの：かけても+打消||決して言い出さなかった(書き記さなかった)

L 8 あやし(賤し)の衣：粗末な、みつともない、卑しい

読みに注意!

檜垣(ひがき) 御時(おおんとき) 内大臣(うちのおとど) 乳母(めのと) 直衣(のうし)

玉勝間 兼好法師が詞のあげつらひ

作者 本居宣長 成立時代 江戸時代 ジャンル (学問的) 随筆

P 164 L 1 限なし：陰りが無い ものかは：くだらうか、いや、そうではない。(反語)

L 3 かこつ：恨み言をいう。嘆く。

L 4 いとふ：嫌がる 待ち惜しむ：(花の盛りの時期を)待ち、(散るのを)惜しむ

L 6 思ふ心のせちなるからこそ：「せち」は「切」。切実であること。

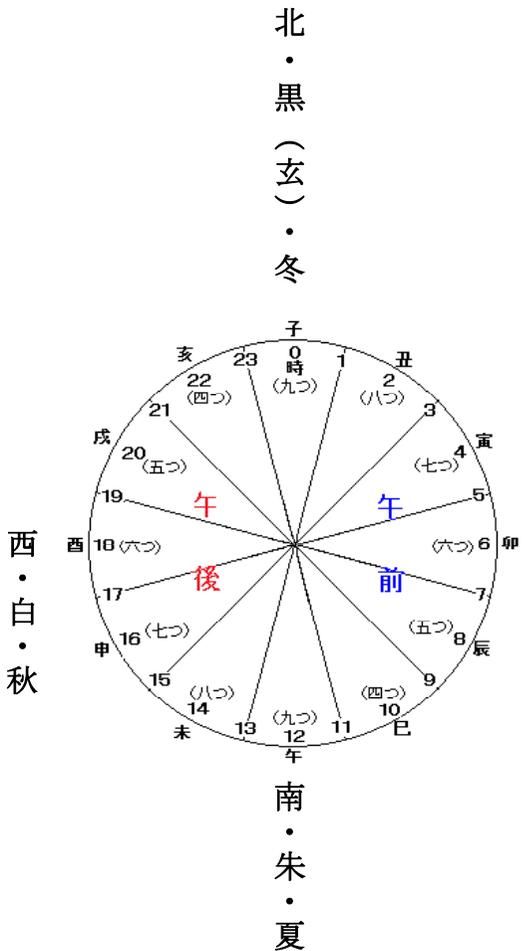
さもえあらぬを嘆きなるなれ：え+打消||できない↓そのとおり(満開の様子をのんびり眺めたり、雲のかかっている月を見ること)にできないことを嘆いたのであろう。

P 165 L 3 逢ひ見んことを願ふ：「逢ふ」(結婚する)「見る」(男女が関係を持つ、結婚する、妻とする)

L 4 さしも深くはおぼえぬものにて：さしも+打消||それほどにはくはない。それほどくはない↓それほど深くは感じない。

十二支 方角・時刻・季節・色などいろいろなことを表すことができます。(第1回スクーリング配布プリント・復習)

東・青・春



ねーねー岡村あゝ
なんで「青春」は
「青い春」って
書くのっ

2019年4月13日 放送

故事成語・四字熟語

※出題パターンを挙げておきますので、しっかりと勉強しておきましょう。

①レポートと同じパターン 青()の志……「雲」

②レポートとは違う個所が空欄のパターン ()雪の功……レポートは「蛭()の功」

③全部漢字で書かせるパターン あくせんくとう↓悪戦苦闘

④全部よみがなを書かせるパターン 一心不乱↓いっしんぷらん

⑤意味を記号で選ばせるパターン 肝胆相照らす ア・身体が調子が悪い イ・親しく交わる ウ・苦労して学ぶ

⑥意味から故事成語・四字熟語を選ばせるパターン 多くのものが競い合っていること ア・捲土重来 イ・波瀾万

丈 ウ・群雄割拠

◎教科書 P 292 ~ 295 にもひととおりの目を通しておきましょう!